

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		スポーツ推進委員運営事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020403000094
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	090501
		0204 生涯スポーツ活動の振興						課長名	スポーツ振興課
政策体系		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	スポーツ振興G
		04 生涯スポーツ活動の振興						担当者名	
		03 ③スポーツ団体の支援とリーダーの育成							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目						単年度繰返し (平成18年度～)			
会計 科目 目 事業 細						↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
01 10 06 01 02 00						保健体育総務事業			
法令根拠						桜川市スポーツ推進委員規則・桜川市体育協会補助金交付要項			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市から委嘱(2年間)を受けたスポーツ推進委員(定数30名)が、住民のスポーツ活動促進のための組織育成や行政機関の行うスポーツに関する行事及び事業に協力し、住民のスポーツについての理解を深めていく事業である。(定数30名:令和5年度委嘱者は27名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 報酬・費用弁償支払業務 市スポーツ推進委員会(役員会・総会・定例会)の開催業務 推進委員の委嘱業務 全国・関東・県スポーツ推進委員功労者表彰推薦業務 推進委員と市民との合同研修会業務 体育協会主催「ふれあいウォーク」への協力参加業務 県女性スポーツ推進委員研修会参加業務 県西地区スポーツ推進委員長協議会・県スポーツ推進委員協議会への参画業務 さくらマラソン大会運営・協力業務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
推進委員への委嘱・報酬・費用弁償の支払 市民との講習会やし主催のイベントへの声かけ	大会及び研修会開催数(スポーツ推進委員会)	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
スポーツ推進員と市民	市スポーツ推進委員	人	27.00	27.00	27.00	27.00	27.00
	市民(常住人口)	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
・スポーツを通じて健康で明るい生活が送れる	スポーツを通じて健康で明るい生活が送れている市民	%	53.30	58.60	59.00	60.00	61.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	
			一般財源	千円	1,157	824	1,273	
			事業費計(A)	千円	1,157	824	1,273	
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績(千円)			07年度事業費 予算(千円)		
	01 報酬	627		01 報酬	810	
	08 旅費	44		08 旅費	310	
	18 負担金補助及び交付金	153		18 負担金補助及び交付金	153	
		合計	824		合計	1,273

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	スポーツを推進し市民が参加できるイベント等開催する。	スポーツを推進し市民が参加できるイベント等開催する。	スポーツを推進し市民が参加できるイベント等開催する。

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業	事務事業No.	20403000094	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 旧3町村よりの継続事業。スポーツ基本法（平成23年6月24日法律第78号）の規定に基づき桜川市スポーツ推進委員規則を定め、スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整を図る。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・ふれあいウォークは、これからもずっと続けて欲しい。 ・競技性がないほうが参加しやすい。 ・市内学校施設開放事業について近年、校庭、体育館等の使用方法や学校敷地内での喫煙等の、苦情があるため、見回りを行い、各種団体への助言を行う。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <p>第2次総合計画の中の「生涯スポーツ活動の振興」において、スポーツをする機会の充実として総合型地域スポーツクラブとの連携を政策として掲げているが、スポーツ推進委員とクラブは密接に連携する取り組みがなされている。</p>
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <p>スポーツ推進委員を中心に、今後少子高齢化が進む中でのスポーツを推進することを、市が行なうことは妥当である。</p>
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <p>スポーツ、運動を通じて健康で明るい生活が送れていると感じている人の割合を増やすため、ニュースポーツの導入などスポーツ、運動をするきっかけ作りのための普及活動を継続的に行っていく必要がある。</p>
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <p>スポーツ推進委員が桜川市のスポーツ行政の企画立案を行なうことであるので、影響は大きい。</p>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 総合型地域スポーツクラブ支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる <p>総合型地域スポーツクラブと連携を図ることで、より生涯スポーツの推進が図られる。</p>
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <p>スポーツ推進委員の報酬は条例で定められているので削減の余地がない。</p>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <p>特定の個人や集団に利益等が生じないため、受益者負担はなじまない。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 再開以降、参加者最大で開催されたさくらマラソン大会運営を中心となって行った。大会参加者の評価も上々であり、大きなミスもなく実施できた。細かい改善点は、終了後に係員で反省会を行い共有化できた。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 推進委員の地域の片寄りを心配する声もある。役員とも相談していきたいが委員になって頂ける人材も少ないので今後の在り方を含め協議していく。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B <p>A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出</p>		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>	
---	--	---	--